

葉山災害ボランティアネットワーク

HSVN

2024 年度総会 議案書

日時 2024 年 6 月 16 日(日)午後 1 時 30 分より

場所 葉山町立図書館ホール

◇総会議案

- 第 1 号議案 2023 年度活動報告及び
同収支会計報告並びに会計監査報告
- 第 2 号議案 役員改選 (案)
- 第 3 号議案 2024 年度年度活動計画 (案)
- 第 4 号議案 2024 年度予算 (案)

【第1号議案】2023年度活動報告及び同収支会計報告並びに会計監査報告

2023年度の主な活動は、期首に掲げた基本重点事項を踏まえ、前年度葉山町を会場に行われた「ビッグレスキューかながわ」における「災害ボランティアセンター設置運営訓練」で発見された課題と取り組んだ1年でした。その中で5月にはコロナ感染症が5類に移行した事も追い風となり、総じて活発な活動を行う事ができました。

そのような中、2024年は元旦の「能登半島地震」の発生で始まりました。（その後、5か月を経た今でも、復興が進んでいるとは言えない状態が続いており、災害ボランティアの活動も活発とは言えない状態が続いているようです。）半島という共通する地理的な特徴を持つ我が町にとって、今回の地震から学ぶべき事は多いと思います。

（総会後の記念講演では能登に派遣された町職員さんのお話が聞けます。その中から学ぶべきことを学んでいきたいと思います）

万が一の場合、災害ボランティアセンターの運営を社協職員とともに担うべく準備を進めている我々葉山災害ボランティアネットワークは、日頃より「災害に備える」と同時に、「対処の方法」を十分検討し、共有しておく必要があると認識しております。また＜受援力＞を高める活動を通じて、地域の皆さんとの繋がりを深め、次世代にバトンを繋げてゆくこともとても大事なことと思われまます。

以下、活動の基本重点事項に照らし、活動の状況を報告します。

〈2023年度活動計画 基本重点事項〉

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害ボランティアセンター（以下災害VC）の仕組みづくりを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。
6. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。
7. 組織体制を見直し、体質強化に努める。

〈2023年度の活動内容〉

1. 「会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。」について

- ① 2023年12月10日に、福祉文化会館大会議室において、社協と共催で「葉山災害VC設置・運営訓練～現地調査を知る～」を、一般社団法人ピースボート災害支援センターの遠藤聡さんを講師として開催しました。受講者38名（会員13名、防災団体11名、町社協12名、他社協2名）が参加し、講義とワークショップを実施しました。
- ② マニュアルの改訂に伴い、葉山災害VC運営にもICTの導入が始まりました。社協に情報システムである「キントーン」が導入され、研修が出来る体制が整いつつあります。かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」にも会員が参加し、災害VC運営に関するICTの導入を学びました。（詳細は巻末〈表〉参照）

2. 「災害ボランティアセンターの仕組みづくりを推進する。」について

- ① 「ビッグレスキューかながわ」における「災害VC設置運営訓練」でマニュアル・様式改訂の必要性が共有され、マニュアル改訂検討メンバー（社協2、HSVN3）により17回の検討会を経て、2024年2月末に「災害VC設置運営マニュアルVol.4.（暫定版）」が完成しました。この後キントーンを含めた検証訓練を経て、2024年度秋に完成を予定しています。
- ② 同じく「ビッグレスキュー」で初の試みとなった障がい者対応に関連し、研修会「災害VCの障がい者対応～知的障がいのある方を中心に～」を開催しました。（7月21日・社会福祉法人湘南の風 新葉山はばたき会議室/会員11名、一般2人参加）
- ③ 葉山災害VCポータルサイト (<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvc>) の平常時、発災時とも更新を継続して充実に努めました。また、新たな情報として能登半島地震災害VC状況を入れ、アクセス数26,000回となりました。

3. 「関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。」について

- ① 災害VC連携会議は9月20日に、町防災安全課2名、社協3名、HSVN会員2名、赤十字奉仕団1名、防災士会1名が出席し開催されました。各団体の近況報告のあと、活発な意見交換がなされました。本会議においてHSVNは、一色小学校の避難所運営委員会（10月27日、2024年1月23日）及び避難所開設運営訓練（11月25日）にオブザーバーとして出席することになりました。
- ② 「三浦半島災害ボランティアネットワーク交流会（葉山・逗子・横須賀・三浦市）」は、2024年1月18日に横須賀総合福祉会館で開催され、HSVN会員5名が参加し、広域連携に向けて関係を強化するための情報交換を行いました。しかし参加者の漸減傾向が見られ、何らかの対策が必要と思われます。
- ③ 「KSVN（神奈川災害ボランティアネットワーク）」に当会から吉田見岳幹事を引き続き

派遣し、情報共有に努めました。

- ④ 「はやままちあるき No. 13・下山口パート2」を2024年2月11日に行いました。参加22人うち下山口町内会2人、一般9人でした。
- ⑤ 10月14日に行われた「葉山町総合防災訓練」の中で、社協と防災ネットワークと共同して一つのテントを出展し、災害VCの広報チラシを配ったり、資機材の展示などを行いました。

4. 「広報活動を通じて新会員の獲得に努める。」について

- ① 担当を1名増員し、Facebook、インスタグラムで継続して活動状況を情報発信しているが、散発的なものにとどまり、十分とは言えない結果となりました。
- ② 東日本大震災追悼行事である「100万人の線香花火ナイト」を例年通り森戸海岸で実施しました。(8月11日・参加約150名)
- ③ 会員相互の親睦を図るため、7月23日、12月17日の拡大運営委員会終了後、懇親会を行い会員同士の交流と忌憚のない意見の交換を行いました。
- ④ 前回の総会でお配りした、「その時、3日間を生き延びる！葉山版」は、能登半島地震の影響もあってか、配布したところから追加要請が相次ぐほどの好評で、およそ2400部ほど配布されています。
- ⑤ その他、葉山町民生児童委員協議会役員会の総会に出席し災害VC、HSVNについて説明したり、湘南ビーチFMに出演する機会を得て活動を紹介したりなど行いました。

5. 「被災地支援活動を継続して行う。」について

- ① 2023年9月台風13号の接近に伴う大雨により被災した千葉県茂原市災害VCのボランティア募集に応募し、家屋内の清掃・片付け・畳撤去、屋外のU字溝泥かき等を2班で分担して活動を行った。(9月17日・参加8名)
- ② 同じく台風13号の影響で発生した線状降水帯による大雨により被災した福島県いわき市へKSVNの被災地復旧支援ボラバスに応募し、水路の泥出しと泥の搬出、周辺の片付け・清掃を行った。(10月21～22日・参加1名)
- ③ 今年度の「緊急支援準備金」の積み立ては残念ながらできませんでした。逆に一部積立金を取り崩すことになりました。この後の収支報告で詳しくお伝えします。

6. 「防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。」について

- ① 5月28日に図書館ホールで、「地震・台風などの災害に備え、葉山の受援力を高めるために！」をテーマに、「HSVN 春季勉強会・体験会」を行いました。受講者は39名(町長のほか、会員14名、町社協5名、関係団体ほか19名)でした。
- ② 「てんでんこ逗葉」の防災キャンプ、防災ピクニックに対する支援を継続して行いました。

7. 「組織体制を見直し、体質強化に努める」について

昨年度の役員改選、役割の変更が2023年度の活発な活動に繋がったと思います。引き続きの課題であります。

組織状況報告

2023年度末 会員数 51名（うち正会員 39名、賛助会員 12名）

－添付資料－

〈表〉 ICT 学習・活用ワークショップ等各種訓練の参加状況

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」	4月15日	1名
	4月22日	スタッフとして1名
	5月6日	1名
	5月20日	スタッフとして1名
	6月10日	スタッフとして1名
	6月17日	スタッフとして1名、社協1名
	7月1日	スタッフとして1名、社協1名
	7月15日	1名
	7月22日	1名他スタッフとして1名、社協1名
	8月12日	スタッフとして1名
	8月19日	スタッフとして1名
	9月9日	1名
	9月30日	スタッフとして1名
	10月7日	1名
	10月21日	スタッフとして1名
	11月4日	1名
	11月25日	スタッフとして1名
	12月9日	2名
	12月23日	スタッフとして1名
	1月13日	1名
1月20日	スタッフとして1名	
2月3日	スタッフとして1名	

	2月17日	スタッフとして1名
	3月2日	1名
	3月16日	スタッフとして1名
KSVN「ICT勉強会」	6月27日	1名
	7月9日	1名
県コミュニティカレッジ「IT利用災害VCシミュレーション」	8月5日	スタッフとして1名
サイボウズ「いわき市災ボラに学ぶキントーン活用とFB発信のコツ」	9月26日	2名
レスキューナウ「クイズで答える防災知識」ほかオンライン講座	4月19日	1名
	6月27日	1名
	11月7日	1名
	12月12日	1名
東大災害対策トレーニングセンター「防災教育ゲームの現状と新たな取り組み」ほかオンライン講座	6月20日	1名
	11月11日	1名
	12月16日	1名
	12月22日	1名
	1月24日	1名
	2月10日	1名
東大災害対策トレーニングセンター「災害対策論」(全23時間履修) オンライン講座	2月19日～23日	1名終了
東大災害対策トレーニングセンター「TheFlow47」(全10時間履修) オンライン講座	2月27日～3月1日	1名終了
葉山町民大学「暮らしのなかの防災・減災を考える～大災害後の生活環境の視点から～」ほか	2月27日	1名
	3月5日	1名
	3月6日	1名
横須賀SVN「災害時VCコーディネイター講習会」	10月22日	1名
横須賀SVN「災害時VC設置運営訓練」	11月19日	1名
横浜市総合防災訓練KSVN災ボラ体験コーナー	8月27日	スタッフとして1名
神奈川県「関東大震災100年かながわ消防防災フェア」	9月2、3日	スタッフとして1名
ぼうさいこくたい 2023・横浜国大においてKSVN「災ボラ体験」	9月17～18日	2名他にスタッフとして1名
ビッグレスキューかながわ・大井町においてKSVN「SVC設	10月15日	2名他にスタッフとし

置運営訓練		て1名
神奈川県「被災者支援のための行政・社協・NPOなど多様な主体による連携体制構築に係る訓練（災害対応ワークショップ）」	12月21日	1名
葉山町防災安全課「自主防災組織リーダー等研修会」	1月31日	2名
横浜市南区社協「災害VC運営シミュレーション訓練」	2月2日	1名
みんな「災害時連携かながわフォーラム」	2月7日	1名
震災対策技術展・横浜においてKSVN「災ボラ体験訓練」	2月8、9日	2名他にスタッフとして1名
葉山町社協「個人情報&プライバシー」	2月28日	1名
神奈川県・県災害救援V支援センターと地域の情報伝達訓練	3月14日	スタッフとして1名、社協
学術会議・防災学術連携「第15回防災学術連携シンポジウム」	4月11日	1名
かながわ311ネット「マンション防災講座」オンライン講座全5回	5月16日～6月13日	1名
SL湘南ネット「災害時のこころのケア」オンライン講座	6月3日	1名
スペクティ「危機管理者向け/BCPのすべて」オンラインセミナー	6月15日	1名
防災教育普及協会「防災教育普及指導者養成セミナー」	6月17日	1名
消防防災科学センター「令和5年度防災啓発中央研修会」オンライン	6月30日	1名
	12月1日	1名
葉山町防災安全課「ペットの防災セミナー」	9月29日	3名
エグジビジョンテクノロジーズ「第2回防災グッズEXPO」	10月24日	1名
葉山町赤十字奉仕団「災害時高齢者支援講習」	11月19日	5名
片瀬公民館・ぼうさい教室「片瀬ぼうさいビンゴ（小学生まちあるき）」	11月23日	1名
SL湘南ネット「浸水時脱出研修」	12月15日	1名
真名瀬・森戸・芝崎町内会「3町内会合同防災訓練」	2月17日	3名
巨大災害研究会・レジリエンス研究教育推進コンソーシアム「レジリエントなDX社会をつくるー災害・防災の最前線ー」オンラインシンポジウム	3月4日	1名



その他会員の一部が、葉山町赤十字奉仕団、防災士会ほかの研修やイベントに参加しました。

2023年度収支報告

科 目	2023年度 予算 (¥)	2023年度 決算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	51,000	45,000	45名
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	20,000	25,500	キリタ、あじ平、三留モーター、個人
5) 繰越金	57,315	57,315	前年度より繰越し
6) 預金利息		2	
収入合計	228,315	227,817	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	81,027	訓練研修諸費用（ピースボート関連一式）など
2) 訓練研修 通信・印刷費	10,000	1,680	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	20,000	11,800	会場使用料など
4) 訓練研修 参加・移動費	10,000		
5) 連携プロジェクト関係費	3,000		
6) 災害支援活動派遣関係費			
7) 防災教育活動関係費	10,000	10,314	てんでんこ返葉助成など
8) 広報PR活動関係費	3,000	39,446	広報活動に係る費用（3日間を生き延びる等）
9) 地域活動関係費	5,000	8,267	町内連携に係る費用（線香花火ナイト等）
事業費計	81,000	152,534	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000	616	イベント保険
管理費計	15,000	13,616	
3 事務費			
1) 会議費	35,000	58,054	ZOOM利用会費など
2) 交通費	1,000		交通費
3) 通信費	10,000	10,644	葉書、切手、郵送代など
4) 消耗品費	5,000	9,282	印刷用紙、事務用品など
5) 機材購入費	30,000		
6) 雑費	5,000	10,920	諸雑費
事務費計	86,000	88,900	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	0	
繰越し抜き支出合計	202,000	255,050	
5 繰越・繰入金	26,315	-27,233	緊急支援活動準備金積立の部から繰入
支出合計	228,315	227,817	
緊急支援活動準備金積立の部			
	2023年度 予算 (¥)	2023年度 決算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	0	2023年度一般会計より繰り込み
2) 繰越金	280,000	280,000	前年度繰越金
収入合計	300,000	280,000	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	300,000	54,780	茂原支援、ボラバス参加費助成
		27,233	一般会計に繰出し
2) 繰越金	0	197,987	次年度へ繰越（積立残高）
支出合計	300,000	280,000	

2023 年度会計監査報告

葉山災害ボランティアネットワーク
代表 柿本 秀二 殿

会計監査 松元美恵 印 
会計監査 吉田健太郎 印 

葉山災害ボランティアネットワークの 2023 年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日
2024年4月27日

監査書類
2023 年度収支会計報告書 および 関係書類監査結果、上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上

HSVN は 2023 年度に「(株)三留モーター商会」様、「ラーメンあじ平」様、「葉山住宅協会」様、「(有)キリタ」様からご支援をいただき活動できました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

【第2号議案】役員改選（案）

2024年度の役員について以下のように提案します。

2024年度役員		
役職	氏名	備考
代表	狩野 友伸	副代表から役職変更
副代表	柿本 秀二	代表から役職変更
会計 (事務局)	西山 利廣	留任
会計補佐 (事務局)	矢嶋 恵子	留任
幹事 (事務局)	岡村 恭子	留任
幹事 (事務局)	窪田 美樹	留任
幹事 (事務局)	吉田 見岳	留任
幹事	雨宮 正治	留任
幹事	関 志歩	留任
幹事	千葉 綾	留任
幹事	中村 和雄	留任
幹事	本多 法仁	留任
会計監査	吉田 健太郎	留任
会計監査	松元 美恵	留任
顧問	丸 恭輔	

【第3号議案】2024年度活動計画（案）

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では多くの被害が発生しました。被災された方々ならびにご家族・関係者の方々には心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早く日常生活を取り戻せるようにお祈り申し上げます。

今回の能登半島地震では、ひと月近くも「災害ボランティアセンター」が稼働できなかつたり、現在でも復旧・復興が思うようには進んでいない状況です。

災害ボランティアセンターの設置・運営を第一の目的とする当会にとっては、災害ボランティアセンターあるいは災害ボランティアについて多くのことを考えさせられる災害でもありました。

同じように半島に位置する葉山町も災害時には外部からの交通アクセスが絶たれる可能性もあり、他人事とは思えません。お手元の冊子「3日間を生き延びる」の表紙裏にあるとおり、神奈川県の実定では全壊家屋が1,800棟、1ヶ月後でも避難者数が10,880名となっています。

発災直後には行政による〈公助〉に頼ることはできず、自分たちで対応するしかありません。そのためには〈自助〉〈共助〉の力を養うことが重要です。しかし、災害の規模が大きいほど〈自助〉〈共助〉では限界があり、外からの支援が必要となります。外部からの支援を受け入れる〈受援力〉を高め、支援を最大限に活用し復旧・復興に結びつける仕組みが「災害ボランティアセンター」です。

HSVNは結成以来12年に渡り、葉山町の〈受援力〉を高める「災害ボランティアセンター」の仕組みづくりに取り組んできました。2024年度のHSVNの活動は、新しい体制で従来からの基本重点事項は引継ぎつつ、令和6年能登半島地震の教訓を活かした葉山の〈受援力〉を高めていくとともに、地域の〈自助〉〈共助〉の支援にもつながる活動を行っていきたいと思います。以下に、今年度の活動計画を説明します

〈2024年度活動計画 基本重点事項〉

1. 災害ボランティアセンター（以下災害VC）の仕組みづくりを推進する
2. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る
3. 広報活動を通じて認知促進をはかり、新会員の獲得に努める
4. 被災地支援活動を継続して行う
5. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる
6. 組織体制を見直し、体質強化に努める

＜基本重点事項＞

1. 災害VCの仕組みづくりを推進する

- ① 災害VCのICT化を念頭に更新したマニュアルの検証を進め、実効性を高める
- ② 2024年秋を目処に、新マニュアルに沿った災害VC設置運営訓練を社協とともに実施する
- ③ 避難所の運営支援も含め、発災直後に災害VCができる対応を検討する
- ④ 災害VC設置・運営訓練の参加を会員に促し、新マニュアルに沿った運営方法を学ぶ
- ⑤ 災害VC設置・運営に係る業務をパートごと（情報処理・現地調査・準備集合・運営本部立上げなど）に分け、パート別の訓練を実施することで理解を深める
- ⑥ ③他団体が主催する各種訓練・研修への参加を会員に促しスキルアップをはかるとともに、他団体との関係性も深める

2. 関係機関や地域の団体との連携を強化する

- ① 葉山町社協・葉山町・町内防災団体による「災害VC連携会議」を通じ、災害VC設置・運営に係る情報を参加機関で共有し、連携強化をはかる
- ② 町内の防災団体（葉山町赤十字奉仕団・日本防災士会神奈川県支部葉山など）との協議体を持ち、発災時の連携や対応における認識の共有化をすすめる
- ③ 葉山町社協職員と合同の研修・訓練を提案し、事項1に掲げた訓練などを共同で行う
- ④ 逗子・横須賀・葉山などの災害ボランティアネットワークによる「三浦半島災害ボランティアネットワーク交流会」に参加し、広域連携に向けた関係を強化する
- ⑤ KSVN（神奈川災害ボランティアネットワーク）に理事を派遣し、情報共有、各種訓練に参加する
- ⑥ 町内での「はやま町あるき」「語り場」などの活動を継続して実施するとともに、地域の町内会・自治会との関係を深める

3. 広報活動を通じて認知促進をはかり、新会員の獲得に努める

- ① 昨年度制作した「リーフレット3日間を生き延びる」の配布を引き続き行い、災害VCおよび当会の認知促進をはかる
- ② 町内で行われるイベントに積極的に参加し、災害VCおよび当会の認知促進をはかる
- ③ Facebook、InstagramなどのSNSを通じた情報発信を継続・強化する

4. 被災地支援活動を継続して行う

- ① 大規模災害時の緊急支援活動を行えるように準備する
- ② 被災地支援活動のための「緊急支援準備金」の積み立てを続ける

5. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる

- ① 子ども向け防災教育を実施している「てんでんこ逗葉」を共催団体として引き続きサポートする
- ② 災害時の「避難」をテーマとした体験会などを実施し、防災への気づきになるような取り組みを行う

6. 組織体制を見直し、体質強化に努める

- ① 予算執行に関する体制を刷新し、厳密な予算管理を行う
- ② 代表の交代をはじめ、幹事の人事を見直し、会の活性化をはかる

【第4号議案】2024年度予算（案）

科 目	2023年度 予算（¥）	2024年度 予算（¥）	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	51,000	50,000	50名
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	20,000	20,000	
5) 繰越金	57,315	0	前年度より繰越し
6) 預金利息			
収入合計	228,315	170,000	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	25,000	訓練研修諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	10,000	5,000	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	20,000	15,000	会場使用料など
4) 訓練研修 参加・移動費	10,000	10,000	
5) 連携プロジェクト関係費	3,000		
6) 災害支援活動派遣関係費			
7) 防災教育活動関係費	10,000	20,000	てんでんこ逗葉助成など
8) 広報PR活動関係費	3,000	35,000	広報活動に係る費用（3日間を生き延びる増刷）
9) 地域活動関係費	5,000	10,000	線香花火ナイトなど
事業費計	81,000	120,000	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000	1,000	イベント保険
管理費計	15,000	14,000	
3 事務費			
1) 会議費	35,000	10,000	打合せお茶など
2) 交通費	1,000		交通費
3) 通信費	10,000	13,000	葉書、切手、郵送代など
4) 消耗品費	5,000	10,000	印刷用紙、事務用品など
5) 機材購入費	30,000		
6) 雑費	5,000	3,000	諸雑費
事務費計	86,000	36,000	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	0	
繰越し抜き支出合計	202,000	170,000	
5 繰越・繰入金	26,315	0	
支出合計	228,315	170,000	
緊急支援活動準備金積立ての部			
	2023年度 予算（¥）	2024年度 予算（¥）	摘 要
I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	0	
2) 繰越金	280,000	197,987	前年度繰越金
収入合計	300,000	197,987	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	300,000	197,987	緊急支援活動
2) 繰越金	0	0	次年度へ繰越（積立残高）
支出合計	300,000	197,987	

以上